

大阪大学 博士課程教育リーディングプログラム 超域イノベーション博士課程プログラム

2025 年度 Basic コース 履修生 (10 月 1 日履修開始)

募集要項

本冊子は大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムのうち、1 年次と 2 年次の部分である Basic コースを履修する者の募集について、出願の区分、出願の方法、選抜についての進め方などを示しています。

Basic コースへの出願に際しては、ホームページ (<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp>) に掲載されている「プログラム案内」と「Basic コース 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー」の各冊子を熟読してください。あわせて、ホームページの各ページも参考にしてください。ただし、出願に関係しないホームページの内容については、2025 年度以降の履修生には適用されない(2024 年度までの) 内容も含まれています。

本履修生としての履修に出願する場合には、履修開始後 3 年次以降の Advanced コースとの関係をよく理解し、履修を出願する区分を判断してください。あわせて、あらかじめ指導教員とよく相談をしてください。

なお、上記ホームページの選抜関連ページに Q&A を掲載します。Q&A の内容は、適宜、必要に応じて更新していきます。出願に際しては最新の Q&A を確認してください。

I. 出願区分

超域イノベーション博士課程プログラム（以下「本プログラム」と称す。）の Basic コースでは下記の表に示すように、履修生を、Basic コースの修了後に引き続いて Advanced コースにも進学し、ゆくゆくは社会と知の統合に関わるテーマでの博士号取得を目指す「本履修生」と、社会と知の統合に向けた関心を持つものの、Advanced コースへの進学は意図しない「準履修生」の 2 つに分けています。

出願区分	本履修生	準履修生
概要	博士号の取得を志し、Advanced コースへの進学を前提に、Basic コースを履修する	Basic コースを履修し、その修了を目指す（博士号取得への意志は問わない）
コースワーク※1	ラーニング科目群等の実践活動（旅費等の支援）	ラーニング科目群
自主的活動の機会	自主的な取り組み（アクティビティ）での活動経費への支援（審査あり）	
学修支援	チューター教員制度など	
経済的支援	優れた者に審査を経て奨学金を支給する制度（2024 年度実績：月額 6 万円）※2	

Basic コースへの出願にあたっては「Basic コース 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー」の冊子、上記の表の内容および下記のコースワーク概要を参考にして、本履修生に出願するのか、準履修生に出願するのか、の出願区分を決めてください。

※1 コースワークは原則、吹田キャンパスにて毎週金曜日に原則対面で実施されます。出席が可能かどうか予め確認の上、出願を検討してください。コースワークに出席ができない場合、単位取得が不可となる場合があります。

※2 給付型奨学金制度（Basic コース本履修生および Advanced コース履修生対象）を設けています。支給金額は年度毎に決定します（2024 年度 Basic コース本履修生対象支給額：月額 6 万円）。ただし、受給資格を満たさなくなった場合、支給を停止します。

超域イノベーション博士課程プログラム^{※1} コースワーク



なお、本履修生に出願する場合には準履修生を併願することができます。準履修生に合格した場合、コースワークで所定の14単位以上^{※3}を履修するか、コースワークで所定の8単位以上^{※4}を履修するかを任意に選択することができます。

Advancedコース履修生選抜（編入試験）には、準履修生として副専攻プログラムまたは高度副プログラムを修了する見込みの者で、かつその時点で博士号取得への意欲がある者が出願できます。また、その他の者についても、別途定める出願資格審査に合格すれば、Advancedコースの履修生選抜（編入試験）に出願することができます。ただし、いずれの場合もAdvancedコースの定員に空きがない場合などプログラムの実施状況により、Advancedコース履修生選抜（編入試験）を実施しないこともあります。

※3 大学院副専攻プログラム「超域イノベーション副専攻プログラム」の修了要件である14単位を指します。

※4 大学院等高度副プログラム「超域イノベーション高度副プログラム」の修了要件である8単位を指します。

以下では、本履修生選抜と準履修生選抜のそれぞれの記述を並行して行います。出願等に際しては出願区分間の混同がないように十分に注意してください。なお、本履修生選抜では応募者に順位を付け可否を判定します。その結果は2026年3月までの奨学金の支給対象者を選考する上での基礎資料にもなります。準履修生選抜では履修生としての適性を応募者毎に判定します。準履修生選抜において適性のある者が定員を上回った場合は総合順位により履修者を決定します。

2. 募集定員

	本履修生	準履修生
募集定員	15名	15名

3. 出願資格^{※5}

本履修生については、下表において出願可として記載されている研究科^{※6}・専攻・課程に、いずれかの年の4月もしくは10月に入学した者であり、かつ休学の期間を除く在籍期間が2025年9月末時点で6ヶ月を超えない者を出願可能とします。

準履修生については、休学の期間を除く在籍期間が2025年9月末時点で6ヶ月を超えない者を出願可能とします。いずれの場合においても2025年10月に当該研究科に在籍しない者は対象外となります。

課程	研究科・専攻 ^{※7}	出願区分	本履修生	準履修生
博士前期課程 ^{※8}	人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻）、工学研究科、基礎工学研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科 ^{※9}	出願可	出願可	出願可
博士課程	医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科、薬学研究科（医療薬学専攻）、生命機能研究科			
修士課程 ^{※8}	医学系研究科（医科学専攻）	出願不可		

※5 本条件を満たす場合であっても、同一研究科の同一課程において過去に本プログラム Basic コース選抜試験を受験した経験がある場合、2 度目の受験はできません。また本履修生と準履修生への併願は、両方の出願資格を満たす場合にのみ可能です。

※6 高等司法研究科には出願対象となる課程はありません。

※7 専攻の記載のない研究科ではすべての専攻が該当します。

※8 修士課程は博士号の取得を前提とする課程ではないため、本履修生にはなれません。ただし、修士課程修了後、博士課程へ進学した場合には本履修生として出願することができます。

※9 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科については、プログラムの特性上、対面での授業参加が必要となるため、大阪大学に在籍する学生を対象とします。

なお、超域イノベーション博士課程プログラムの本履修生が他の博士課程教育リーディングプログラム・卓越大学院プログラム・理工情報系オナー大学院プログラムを重複して履修することはできません。人文社会科学系オナー大学院プログラムとの重複履修は可能です。その他、不明な点がある場合は本プログラム事務室へ個別にお問い合わせください。

4. 出願手続

4.1. 出願受付期間

2025年6月9日(月)～ 同6月26日(木)正午【締切厳守】

4.2. 出願方法

以下(1)～(3)の事項全て「2025年度 面接試験・グループワーク試験詳細」を熟読の上、出願受付期間内に完了してください。

(1) 受験者情報の登録【[Formzu\(Web フォーム\)](#)】

受験者は当プログラムのホームページに掲載される URL から必要情報を入力し、送信してください。送信後、受験番号が記載された返信メールが登録したメールアドレス宛に届きます。メールが届かない場合、迷惑メールフォルダもご確認ください。また入力・送信を複数回行った場合、原則として最新の送信内容を採用します。

(2) 出願書類の送付【[Formzu\(Web フォーム\)](#)】

受験者は(1)の登録後、下記 6 に示す出願書類(出願区分によって必要書類は異なる)を作成し PDF 形式で提出してください。
出願書類(1)～(4)を 1 ファイルの PDF に変換して、当プログラムのホームページに掲載される URL からフォーム内にアップロードしてください。

面接試験およびグループワーク試験の実施時間については、原則として受験者個々の事情による調整には応じかねます。なお、他の試験等の事情がある場合には、出願書類の提出時に Web フォームにて、その旨を申告してください。ただし、試験時間に関する制約のため、ご希望に添えない場合があることをあらかじめご了承ください。

(3) 指導教員の推薦書・履修承諾書の提出【[Formzu\(Web フォーム\)](#)】 ※本履修生のみ

本履修生としての履修を希望する受験者は(1)の登録後、学籍番号と当プログラムのホームページに掲載される URL を指導教員へ知らせ、推薦書・履修承諾書の提出を依頼してください。指導教員の方は学生より提示された URL から推薦書・履修承諾書を登録してください。

5. 検定料

不要

6. 出願に際して提出する書類

本履修生・準履修生の出願区分に応じて、下表に従い各出願書類を提出してください※⁹。所定の様式は本プログラムのホームページ(<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp/selection/basic/>)からダウンロードしてください。

書 類		内 容	出願区分	本履修生	準履修生
(1)	出願理由書 (様式 1)	教育目標やアドミッション・ポリシーを熟読した上で、所定の様式に、注釈の指示に従って記入してください。		○	○
(2)	研究計画書・研究業績 一覧 (様式 2)	所定の様式に、注釈の指示に従って記入してください。		○	×
(3)	成績証明書 (様式 3)	2025 年 3 月 (2024 年度末) 以前に在籍していた教育機関のうち、直近に在籍していた教育機関での最新の成績証明書またはこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したもの(発行日から 12 か月以内のものに限る)に所定の様式を表紙に付けてください※ ¹⁰ 。		○	×
(4)	参考資料 (様式 4)	本プログラムの履修生としての適格性をアピールする資料を注釈※ ¹¹ に従い制限の範囲内で提出することができます。その際には、所定の様式を表紙としてください。 <u>日本語を母語としない者は、日本語の能力を示す資料のコピーを必ず提出してください。</u>		任意	×

○:要、×:不要・不可

※⁹ 本履修生に出願する者が準履修生を併願する場合は、本履修生出願書類(1)～(4)一式を提出してください。それぞれについて 2 通を提出する必要はありません。

※¹⁰ 当該の教育機関が下記のいずれかに該当する場合には、それぞれに指定の成績証明書を提出してください。

- * 高等専門学校専攻科出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。
- * 大学の学士課程の 3 年次等に編入学をした者は、編入前に在籍した教育機関の成績証明書も併せて提出してください。
- * 外国の大学等の卒業で書類が適切かどうか不安な場合は出願前に本プログラム事務室へ個別にお問い合わせください。

※¹¹ 社会活動、学業や研究活動などの諸活動についての下記のような資料(複数可)を提出することができます。提出するものがない場合は表紙のみを提出してください。

- * 諸活動の成果物。社会活動であれば既存の報告書等(応募者自身が執筆したものを含む。写しの提出も可)。研究活動であれば、学術雑誌もしくは国際会議のプロシーディングに掲載された論文等(掲載予定のものも可)。ただし、卒業論文あるいはそれに類するものを除く。
- * 諸活動の関係者による推薦書。様式は任意であるが、推薦者が厳封したものに限る。指導教員である者が指導教員以外の立場で作成する推薦書は(4)参考資料として提出することができます。
- * 新聞や雑誌等での当該活動に関連する記事のコピー。
- * 特筆すべき資格や受賞歴、外国語運用能力を示す検定試験のスコアなどについて、これらを証明する書類のコピー。

なお、出願書類の準備にあたっては、下記の各事項に注意してください。

- (1) 募集要項を熟読の上、本履修生・準履修生の出願区分に応じて、出願書類を提出してください。所定の様式は本プログラムのホームページ(<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp/selection/basic/>)からダウンロードしてください。
- (2) 出願書類に重大な不備のある場合は受理できません。
- (3) 成績証明書等、教育機関等から発行される文書を除き、出願書類は指定様式を用いて、日本語で記載し、様式の変更(欄の追加・削除等)は行わないでください。
- (4) 所定の期限までに書類が提出されない場合、当該書類については評価の対象外、もしくは減点措置とします。
- (5) 字数制限等も様式の記載に沿って作成してください。字数が超過している場合は減点対象となります。
- (6) 出願書類の提出は募集要項に沿って、PDF 等に変換、フォルダにまとめるなど適切な形で提出してください。
- (7) 出願書類提出後のデータ差し替えや記載事項の変更は認めません。出願書類を複数回提出した場合、初回提出分での出願受付となります。
- (8) 出願時に提出された書類は、原則として返却しません。
- (9) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格決定後であっても履修の許可を取り消すことがあります。
- (10) 剽窃(盗用)・代筆・捏造などの不正行為が発覚した場合、処分の対象となります。また、所属研究科へ不正行為に関する報告を行います。剽窃(盗用)とは他人が作成した文章を、その出典を引用することなく自分のものとして無断で使用する不正行為です。

剽窃(盗用)とみなされる事例

- ・ 他人が作成した文章(論文やレポート、Web サイトや活字媒体に掲載されている文章等。以下、著作物とする。)を自分のものとして使用し、引用部分を示していない。
 - ・ 著作物の文章に語句や前後関係の変更を加え、自分のものとして使用している。
 - ・ 引用について記載されているが、引用箇所が具体的に示されていない。
- (11) 出願書類作成において生成 AI を利用する場合は、下記の点に留意すること。
- ・ 生成 AI によって得られた情報をそのまま出願書類に引用しないこと。
 - ・ 生成 AI はインターネット上のテキストデータを参照しているため、生成される文章には誤った情報を含む可能性があることに留意すること。
 - ・ 生成 AI に読み込ませる情報はシステムに蓄積・学習される可能性があるため、個人情報や機密情報を提供しないよう配慮すること。
 - ・ 詳しくは、生成 AI の利用に関する本学の方針を参照すること。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2023/04/17001>

7. 選抜プロセス

選抜試験は書類審査と面接試験、グループワーク試験によって構成されます。面接試験およびグループワーク試験はオンラインテレビ会議システムを利用してリモートで実施します。試験の概要は本募集要項末尾の「面接試験・グループワーク試験詳細」を確認してください。

出願区分	本履修生	準履修生
出願書類受理期間	2025 年 6 月 9 日(月)～ 同 6 月 26 日(木) 正午	
予備審査結果通知	2025 年 7 月 25 日(金)	
プレゼンテーション資料 提出 締め切り	2025 年 7 月 30 日(水) 正午	
面接試験 グループワーク試験 ※12、※13	2025 年 8 月 4 日(月)・5 日(火) (2 日間) 試験内容の詳細、諸注意事項は別添「面接試験・グループワーク試験詳細」を参照してください。	
追試・予備日※14	2025 年 8 月 18 日(月)・8 月 19 日(火)	
合格発表	2025 年 9 月中旬(予定:本プログラムホームページにて発表)※15、※16	
履修宣誓式 オリエンテーション	2025 年 9 月 26 日(金) 9:30～※17	

※12 面接試験・グループワーク試験は予備審査通過者のみが受験可能です。出願者数が募集定員を大幅に超過した場合、もしくは出願書類の内容が合格基準を満たさないと判断された場合には予備審査不合格となる可能性があります。予備審査の結果は、受験者情報に登録されたメールアドレスへ通知します。2025 年 7 月 28 日(月)を過ぎても予備審査の結果通知が届かない場合は、超域イノベーション博士課程プログラム事務室(連絡先は末尾を参照)までお問い合わせください。なお、予備審査の合格者(出願区分が本履修生、併願の者)は面接試験におけるプレゼンテーション資料の提出が必要となります。

※13 面接試験・グループワーク試験はオンラインテレビ会議システムで実施します。詳細な案内は予備審査の結果とともに通知します。

※14 災害等、やむを得ない事由によって、運営が行えない事態が生じた場合は、追試験を行うことがあります。試験の性質上、個人的な事由(体調不良や個別の案件など)での追試験の実施は原則行いません。

※15 本履修生として出願した者が、受験者情報の登録において準履修生の併願を希望する旨を記載した場合、合格発表において、本履修生としては不合格であっても、準履修生として合格になることがあります。

※16 合格発表後に本履修生に欠員が生じた場合、2025 年 9 月 18 日(木)までは選抜試験を受験した者の中から繰り上げて合格者を出す場合があります。その際の連絡は受験者情報に登録された電話番号とメールアドレスに行います。

※17 履修宣誓式およびオリエンテーションについては、本試験において合格した本履修生・準履修生ともに原則として参加が必須となります。やむを得ない理由により欠席する場合は可能な限り早期にご連絡ください。なお、履修宣誓式およびオリエンテーションに関する案内は内容が決定次第通知します。

なお、選抜試験に関しては、下記の各事項に注意をしてください。

- (1) 障がい等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合には原則として 2025 年 6 月 19 日(木)までに超域イノベーション博士課程プログラム事務室へお問い合わせください(連絡先は末尾を参照)。なお、対応の検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早期のお問い合わせをお願いいたします。
- (2) 面接試験およびグループワーク試験の実施時間については、原則として受験者個々の事情による調整には応じかねます。なお、他の試験等、事情がある場合には、出願書類の提出時に WEB フォームにて、その旨を申告してください。ただし、試験時間に関する制約のため、ご希望に添えない場合があることをあらかじめご了承ください。
- (3) 合格発表は本プログラムホームページ(<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp/selection/basic/>)にて行います。電話、メール等による可否および審査内容の問い合わせには一切応じられません。

8. 履修手続きについて

選抜試験の合格者が本プログラムの Basic コースを履修するためには、本プログラムの履修手続きが必要となります。なお、本プログラムを履修することによる追加の入学料・授業料はありません。履修手続きの詳細は合格者に別途連絡します。

9. 備考

選抜試験および履修における個人情報下記のように取り扱います。

- (1) 出願時に提出された個人情報は「履修生選抜試験(出願処理、試験実施)」、「合格発表」、「履修手続」等の業務および本プログラムに関する業務を行うために利用されます。
- (2) 履修生選抜試験に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び履修生選抜方法の調査・研究のために利用されます。
- (3) 履修生選抜試験に用いた試験成績、プログラム開始後の履修状況・成績についてはその後の選抜や経済的支援に利用されます。

【問い合わせ先】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1
大阪大学 産学共創 D 棟 2 階
超域イノベーション博士課程プログラム 事務室
E-mail: selection@cbi.osaka-u.ac.jp